



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ケイ・ウノ
代表者名 代表取締役 CEO 青木 興一
(証券コード 259A 名証ネクスト市場)
問合せ先 取締役 CAO 兼執行役員 渡沼 和則
(TEL : 080-7638-1240)

2025 年 9 月期通期業績予想（連結・個別）と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2025 年 5 月 7 日に公表いたしました 2025 年 9 月期通期業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、2025 年 9 月期におきまして特別損失を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績値との差異

(1) 2025 年 9 月期通期連結業績予想と実績値との差異（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,862	100	55	7	6.74
実績値 (B)	7,004	102	75	22	21.87
増減額 (B-A)	141	2	20	15	—
増減率 (%)	2.1	2.4	37.0	224.9	—
(ご参考)前期実績	6,656	262	234	166	176.13

(2) 差異の理由

売上高につきましては、WEB マーケティング施策の強化が奏功し、想定以上の新規顧客の獲得につながったことに加え、推し活ニーズに合わせたライセンス商品の積極的な展開が好評を博し、前回予想を上回りました。

営業利益、経常利益につきましては、2025 年 9 月期第 4 四半期連結会計期間に原材料価格が想定以上に高騰したことにより、売上原価が前回発表予想を上回ったものの、売上高が好調に推移したことに加えて経費削減に努めたことで、前回予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、下記 2 の通り減損損失による特別損失を計上したものの、売上高の増加や経費削減により、前回予想を上回りました。

2. 連結業績における特別損失の計上について

2025 年 9 月期第 4 四半期連結会計期間（2025 年 7 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）におきまして、当社が保有する店舗に係る固定資産の一部について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失 13 百万円を特別損失に計上いたしました。

3. 個別業績予想と実績値との差異

(1) 2025 年 9 月期通期個別業績予想と実績値との差異 (2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,395	27	0	0.63
実績値 (B)	6,498	35	△82	△79.32
増減額 (B-A)	102	7	△83	—
増減率 (%)	1.6	27.2	—	—
(ご参考)前期実績	6,334	261	177	188.24

(2) 差異の理由

売上高につきましては、上記 1 に記載の通り、WEB マーケティング施策の強化が奏功し想定以上の新規顧客の獲得につながったことにより、前回予想を上回りました。

経常利益につきましても、連結業績と同様の理由により前回予想を上回りました。

当期純利益につきましては、下記 4 の通り特別損失を計上したことにより、前回予想を下回りました。

4. 個別業績における特別損失の計上について

2025 年 9 月期第 4 四半期連結会計期間 (2025 年 7 月 1 日～2025 年 9 月 30 日) におきまして、以下の通り特別損失を計上いたしました。

(1) 減損損失

当社が保有する店舗に係る固定資産の一部について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失 13 百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 関係会社株式評価損

当社の持分法適用会社である愷吾柔璞琳夢股份有限公司の関係会社株式について、「金融商品に関する会計基準」に基づき評価を行った結果、実質価額の著しい低下が認められたため、関係会社株式評価損 82 百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、(2) 関係会社株式評価損につきましては、連結決算において全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

以上